

ファンアウトボード Ver.2 の製作 (2 枚目)

本原顕太郎

2000 年 1 月 19 日

1 実装部品の回路定数

実装した部品の表を以下に示す。まずは FET。

ID は 1995 年 5 月に M1 実験で特性を調べたときにつけたもの。それぞれの特性は当時のレポートを参照のこと。

部品番号	ID	種類
QA1	o	J270
QA2	f	J270
QB1	b	J270
QB2	l	J270

部品番号	ID	種類
QC1	e	J270
QC2	h	J270
QD1	d	J270
QD2	a	J270

次に抵抗：

部品番号	回路定数 (Ω)	種類
R3	10.8	金属皮膜抵抗
部品番号	回路定数 (Ω)	種類
RA1	10.5	金属皮膜抵抗
RA2	200.5k	金属皮膜抵抗
RA3	199.7k	金属皮膜抵抗
RA4	199.7k	金属皮膜抵抗
RA5	5.10k	金属皮膜抵抗
RA6	5.09k	金属皮膜抵抗
RA7	10.4	金属皮膜抵抗
RA8	—	—
RB1	10.8	金属皮膜抵抗
RB2	199.7k	金属皮膜抵抗
RB3	199.3k	金属皮膜抵抗
RB4	199.0k	金属皮膜抵抗
RB5	5.07k	金属皮膜抵抗
RB6	5.09k	金属皮膜抵抗
RB7	11.1	金属皮膜抵抗
RB8	—	—

部品番号	回路定数 (Ω)	種類
RC1	11.2	金属皮膜抵抗
RC2	199.6k	金属皮膜抵抗
RC3	199.4k	金属皮膜抵抗
RC4	199.1k	金属皮膜抵抗
RC5	5.11k	金属皮膜抵抗
RC6	5.08k	金属皮膜抵抗
RC7	10.6	金属皮膜抵抗
RC8	—	—
RD1	11.7	金属皮膜抵抗
RD2	199.8k	金属皮膜抵抗
RD3	199.9k	金属皮膜抵抗
RD4	199.6k	金属皮膜抵抗
RD5	5.11k	金属皮膜抵抗
RD6	5.09k	金属皮膜抵抗
RD7	11.4	金属皮膜抵抗
RD8	—	—

次にコンデンサ：

部品番号	回路定数 (F)	種類 (耐圧)
C1	1.0 μ	積層セラミック
C2	10 μ	タンタル (35V)

部品番号	回路定数 (F)	種類 (耐圧)
CA1	1.0μ	積層セラミック
CA2	1.0μ	積層セラミック
CA3	10μ	タンタル (35V)
CA4	1.0μ	積層セラミック
CA5	1.0μ	積層セラミック
CA6	10μ	タンタル (35V)
CA7	10μ	タンタル (35V)
CA8	1.0μ	積層セラミック
CA9	—	—
CB1	1.0μ	積層セラミック
CB2	1.0μ	積層セラミック
CB3	10μ	タンタル (35V)
CB4	1.0μ	積層セラミック
CB5	1.0μ	積層セラミック
CB6	10μ	タンタル (35V)
CB7	10μ	タンタル (35V)
CB8	1.0μ	積層セラミック
CB9	—	—

部品番号	回路定数 (F)	種類 (耐圧)
CC1	1.0μ	積層セラミック
CC2	1.0μ	積層セラミック
CC3	10μ	タンタル (35V)
CC4	1.0μ	積層セラミック
CC5	1.0μ	積層セラミック
CC6	6.8μ	タンタル (35V)
CC7	6.8μ	タンタル (35V)
CC8	1.0μ	積層セラミック
CC9	—	—
CD1	1.0μ	積層セラミック
CD2	1.0μ	積層セラミック
CD3	10μ	タンタル (35V)
CD4	1.0μ	積層セラミック
CD5	1.0μ	積層セラミック
CD6	10μ	タンタル (35V)
CD7	10μ	タンタル (35V)
CD8	1.0μ	積層セラミック
CD9	—	—